RGB をバンド

毎に追加

追加

v74 新機能

操作画面の変更 - より柔軟により速く

マイクロイメージはモザイク処理を見直して、より便利 で柔軟で、かつ重要な新機能を追加しました。主な新しい 機能にコントロールウィンドウの改造やタイルセットラス タの出力、任意の座標参照系への投影、マルチバンド画像 のモザイクなどがあります。新しいモザイク処理の中では 大きなデータでも処理速度を高速化するために TNT 独自の パイプライン処理を使っています。

				-да •У шеула	2011-01-0-0	0.00
🗏 Mesaic						
	18.18					
Ob ject	Reference Sustem		Cell Size	Dimensions		
p045r025psCIRc_rvc / CIR	HGS84 / UTH zone 11N (CH	1178)	14.25 n	16293 x 15607		EX
p045r026psCIRc.rvc / CIR	HGS84 / UTM zone 11N (CM	1178)	14,25 n	16312 × 15591	マルヘム	. — []
p045r027psCIRc.rvc / CIR	HGS84 / HTM zone 10N (CM	1238)	14.25 m	15558 x 14859	〒1冊のワ	1 - 1
p046r025psCIRc.rvc / CIR	Not same as output coor	dinate refe	rence	15719 x 15056	ンドウを	盟
p046r026psCIRc.rvc / CIR	Hussey 7 offi Zone Ton Con	125H7	14.23 H	15758 x 15068	+++	
p046r027psCIRc.rvc / CIR	HGS84 / UTH zone 10N (CH	123H)	14,25 m	15777 × 15058	さより	
p047r025psCIRc.rvc / CIR	HGS84 / UTH zone 10N (CH	123H)	14.25 m	15920 x 15245	/	
p047r026psCIRc.rvc / CIR	HGS84 / UTH zone 10N (CH	1234)	14.25 n	17738 x 15966		M
Extents   Output   Parameters   Enhance   Display   🛛 👰 🗊 🕖 🏵 🛇 🔍 🗮 🕲 🖉						
Selection Total Extents	•		Alter Car		- Trees	4
Peference Teace						
Meren cince Anageeses						
Reference System   NGS84 / UTM zo				C. C. A. V	1	
Extents			the time in the all	Sher & Bar	11 11 11 11 11	<i>i</i>
Easting 165791.63 to	895622,14		-Kely Con		12 C 8 M.	
Northing 5140922.63 to	5697876.07		No.	Con-1. Million	The states	
Cell Size (neters) Inage Size						
Line 14,250 L	ines 39085			NOT STOL		
Column 14.250 C	lunns 51217				The second	
	,			- Alize -	The same	
Source Inages				AN AN	a start	
Total: 14				1111	a 1.40	
Resampled: 2				-dster -	5.05% A	
				197		
				and the second second		
		20		and the second s	1	V
	7					
4	5	200n:	1.0 Scale:	6592070 💽 530706	.88 E 5419399.35	Nn
Time to load; 1,182 seconds / Time to draw; 1,794 seconds						

再投影される入力画像の座標参照系は赤で表示されます。データチッ

プロはカラーで強調表示されている項目の説明が表示されています

モザイクウィンドウは、モザイクを行う際に必要な情報 を表示するように再設計しました。各入力オブジェクトの 座標参照系やセルサイズ、大きさを表示するため入力画像 のリストを大きくしました。座標参照系やセルサイズの項 目は、出力のモザイクと異なる場合は赤で強調表示されま す。指定したモザイクの範囲の外側に入力オブジェクトが ある場合は青で強調表示されます。リスト中の強調表示さ れたフィールドの上でマウスを止めると、その項目を説明 するデータチップが現れます。

モザイクのウィンドウには処理パラメターを設定するた めのタブパネルや、入力画像を表示するための表示ウィン ドウがあります。また、必要であればサイズ変更可能な予 備の表示ウィンドウを開くことができます。これらの表示 ウィンドウに合わせて複数の表示グループを設定すること

が可能で、[Display] タブパネルに表 示されます (右図)。"Source Images (ソース画像)" グループは入力ラスタ 画像を含みます。モザイクをする時、 参照用に以下2つのグループにオブ ジェクトを追加することができます: ソース画像グループの下の"Background (背景)" グループと、その上にある "Overlays (オーバーレイ)" グループ です。参照画像に合わせてモザイクを したい時は、"Extents Reference (範囲参照)" グルー プが画面に追加されます。

ドラフト 2007年10月31日

[Extents (範囲)] タブパネルの「Selection」メニュー ではモザイクの地理的範囲やその他の空間的な特性をコ ントロールすることができます。[Match Reference (リ ファレンスに合わせる)] オプションでは、モザイクを 指定した参照画像の範囲や座標系、セルサイズに合わせ

> ることができます。左図で示す [Total Extents (全範囲)] オプションでは、 入力オブジェクトの範囲全体を使用し ますが、モザイクの座標系やセルサイ ズ(または画像サイズ)を選択するこ とができます。このオプションを使え ば、入力オブジェクトに関係した座標 系やあるいは全く異なる座標系からモ ザイク用の座標参照系を選択すること ができます。入力画像に使われている 座標参照系はデフォルトに設定されま す。[Extents]タブパネルの「Reference System (参照系)」メニューには入力 オブジェクトに使われている全ての 参照系が一覧表示され、それらを簡 単に選択することができます。また、 [Specify(指定)]オプションを使って、 座標参照系ウィンドウを開いて TNT 製 品でサポートされている参照系の中か ら選択することもできます。モザイク

や予備のウィンドウに表示される入力オブジェクトや参 照オブジェクトは、指定した出力の座標系に投影されて 表示されます。出力の参照系を変えるとこれら表示ウィ ンドウの画面は自動的に変わります。

出カモザイクは標準のラスタオブジェクトやタイル セットラスタとして格納されます。後者についての詳 細はテクニカルガイドの"Mosaic: Mosaic Directly to TNT Tileset (モザイク:タイルセットに直接モザ イクする)"をご覧ください。グレースケール画像やカ ラー画像 (RGB 分離とカラー合成)、マルチバンド画像 もモザイクすることができます;これらのオプション に関する詳しい説明はテクニカルガイドの"Mosaic: Glayscale, Color, and Multiband (モザイク:グレース ケール、カラー、マルチバンド)"をご覧ください。

